

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	昭和49年度～	根拠法令・例規等	社会教育法 備前市立公民館設置条例
総合計画	大項目	基本構想	02 自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 合 先	担当課(室) 中央公民館 職・氏名 館長代理 森中信行 電 話 64-1133 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	基本計画	02 自分を磨ける・自分を変えられるまち		
	小項目	施策	07 公民館・図書館機能の充実		
事務事業名		07	地区公民館管理運営事業		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内13地区に在住の住民	
目的(何のために)	地区住民のニーズを取り入れた特色のある講座、教室等を企画して学習発表の場を提供する。広報、市ホームページを活用して公民館活動を積極的にPRする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的とする。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	地区公民館管理運営事業	施設整備を行うことにより、利用者に最適な生涯学習の場を提供する。	◎
	地区公民館運営審議会事業	運営審議会は、館長の諮問に応じ、各種事業の企画実施について調査審議する。	○
	地区文化祭運営事業	地区住民の文化向上に資することを目的とした事業。	○
	地区体育祭運営事業	地区住民の健康の増進を図ることを目的とした事業。	○
	地区社会体育事業	スポーツ活動を通じて、地域コミュニティの育成を目的とした事業。	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	44,491	41,955	43,984
	必要人員	人	0.81人	0.61人	0.59人
	事業費	千円	6,750	5,281	5,236
	事業費	千円	51,241	47,236	49,220
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円	249	1,088	1,182
繰入金	千円				
市債	千円				
その他( )	千円	266	542	586	
一般財源	千円	50,726	45,606	47,452	
受益者負担比率	%	0.5%	2.3%	2.4%	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標	説明	地区公民館(13館)を利用した人数		
	対前年比	%	69,805	80,735	80,606
	活動コスト	円	51,241,000	47,236,000	49,309,000
	単位当たりコスト	円	734	585	612

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
年間利用者数	成果指標名	目標値(A)	100,000	80,000	80,000	90,000
		実績値(B)	69,805	80,735	80,606	到達目標値
		達成率(B/A)	69.81%	100.92%	100.76%	90,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
地区公民館(13館)を利用した人数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高 低い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高 低い	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高 低い	C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		説明	年度内に企画予定の講座内容として、利用者のニーズを参考にしながら、たくさん集客できそうな内容のものを検討する。						

総合評価		総合評価	C
公民館という行政施設の利用については、主に文化芸術に通ずる市民が中心となりがちであるが、今後いろいろな角度から講座等のテーマを提案し、利用者層の拡大が必要である。		総合評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高 低い	C

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		取組目標	新しい利用者層の開拓を図るために、新しいカテゴリーのテーマを検討、提案し、かつ市民への周知活動を積極的に行う。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら